

い く せ い

57号

- ・福祉のつどいに参加しよう
- ・講演会報告
- ・障害者相談について

発行 平成20年11月1日
発行所 田原市手をつなぐ育成会
発行日 毎月1日



種がこぼれおちて、たくさん芽を出したサクラソウに肥料をまきました。十日ほど経つと、葉っぱの緑が目に見えて濃くなりました。「野沢和弘氏の後援会」「手をつなぐ育成会東海北陸大会」、たくさん学習する機会があった10月ですが、過ぎてしまうだけでなく、こやしになって私たちを育ててくれているのだなあとと思います。

福祉のつどいに参加しよう（11月9日・日）

手をつなぐ育成会として、福祉のつどいに参加します。

パネル展示・・・写真やイラストなどで活動状況を知らせます。お子さんの写った写真を掲載してほしくない方はお近くの役員か花井（22-1565）までお知らせください。

ミニ講演会・・・「自閉症疑似体験とだからこそその支援」※ちらしを見てください。

NPO法人ゆう（豊川市）副理事長荻野ます美氏。今年3月に行われた「岡崎キヤラバン隊」の荻野さんです。障害者の立場に立つての疑似体験や支援についての説得力のある納得するお話です。

バザー・・・やさしさの集まった協力品によるバザーにしたいと考えています。今年は本人さんたちもがんばって販売をします。バザーに出品できる不用品や農産物などがありましたらご協力ください。

8日（土曜日）の午後準備をしますので、7日までにお近くの役員に届けてください。農産物などは当日の朝、直接会場に持ってきてくださるとありがたいです。

※ 今年も本人さんに参加賞が用意してあります。同封の用紙をご覧ください。是非、本人さんも参加して福祉のつどいを意義のあるものにしましょう。

11月・12月のカレンダーメモ

本部事業

- ・11月9日（日）福祉のつどい・11月15日（土）かご作り
- ・11月22日（土）フライングディスク大会
- ・12月14日（日）療育相談
- ・12月26日（金）もちつき

グループ活動・きらら 11月30日 色遊び、12月14日 音遊び

- ・あつみ 11月23日焼き物教室、12月14日クリスマス会・調理実習
- ・エアロビ11月15日、12月20日
- ・カラオケ11月28日（金）、12月26日
- ・さくらんぼ 11月9日福祉のつどいバザー参加



講演会報告

野沢和弘氏の講演会（10月18日）。240名の参加でした。

「涙が止まらなくて困りました」「『自由の女神だね』、の話がとても心に残りました」「盲人の人が多数になったら、明かりをつけるのがわがまま、というのが分かりやすく、ドキッとしました」「さすが新聞記者、事実をとらえる見方がすごい。知的障害者を親に持った子の話は心が痛みました」……アンケートにも感動の声がたくさん寄せられました。「千葉県の条例はできたからいいというものではなく、育てていくのが大切」「愛知県での条例にも注目」……私たちの会でも、地域で障害者が普通に暮らせるための「眼・芽」を大切に育てていきましょう。（S）

※バザーに協力して下さった皆様、ありがとうございました。

「幸せの黄色いレシート」

10月11日、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン。田原市手をつなぐ育成会への総額は 53,766円でした。これは、ジャスコの品物をその金額分だけ頂くというシステムです。皆様の多くのレシートが形になりました。コピー用紙、封筒、紙コップなどをいただきました。（毎月広報を発送している立場としてはとても助かります）

ジャスコ田原店・店長の久野千代子様
ありがとうございました。

こんなふうに、「売上の一部を福祉やボランティアに使ってください」というお店が増えてほしいです。



第41回 手をつなぐ育成会 東海北陸大会 於・岡崎市民会館他

第一分科会では、田原市手をつなぐ育成会の本人部会から、小樋友里恵さんが、ヘルパーの仕事について提言者として発表してくれました。

他の分科会でも、障害児・者を取りまく問題について提言があり、話し合われました。

「親が障害を受け入れること」「子育て家族への支援」「職場でのいじめ・体罰。本人を強くする為がまん?」「地域で生活していくには」……もりだくさんの内容でした。（花）

じゃんだらりんコンテスト

10月26日田原市民祭り、じゃんだらりんコンテストに参加。今年も楽しく踊りました。賞はもらえなかったけど、みんな最高でした。当日応援に来てくれた伊藤直樹君、立岩龍君、朽名晃一君が飛び入り参加で楽しく踊ってくれたことがすごくうれしかったです。

「ティーズ」で放映される予定です。みんな見てね。



赤い羽根街頭募金

10月12日、赤い羽根街頭募金に、本人さんたちが協力しました。朝8時から「ええぞんマーケット」。移動して9時40分頃よりスーパーヤマナカで。募金箱をもって、皆さんに呼びかけました。今年は22,419円でした。皆様のご協力ありがとうございました。本人部会のみなさん、お疲れ様でした。がんばって活動している顔は生き生きしてますね。



田原市障害者相談支援総合受付センターのご利用について

(市役所福祉課 柴田さんより)

平成20年4月から、田原福祉センター1階に障害がある方やそのご家族、関係機関の方の相談窓口として「田原市障害者相談支援総合受付センター」を設置しています。開設時間(平日・午前8時30分から午後5時15分)には相談支援専門員が常駐していますので、どんなことでもお気軽にご相談ください。

●連絡先

電話 23局3812または23局3110

FAX 23局3110

Eメール shogai-sha-sodan@chorus.ocn.ne.jp

●開設時間以外の連絡先

▼田原市障害者生活支援センター

電話 45局3828

携帯電話 (090)3483局2452

▼田原市社協相談支援事業所

電話 23局0610

携帯電話 (090)9123局7376

▼蔵王の杜相談支援事業所

電話 23局7511

▼地域生活支援センターcollabo

携帯電話 (080)5138局6321

※24時間・365日対応しています。

いろいろな悩み、

- ・障害を受け入れられない。
- ・就学はどうするか。
- ・療育手帳はあったほうがいいのか？
- ・療育手帳の更新手続き、一番いい方法は？
- ・進学はどうするほうがいいのか。
- ・卒業後の進路。
- ・親が病気の時・・・もっと小さいことでも相談してすべてが解決するわけじゃないけど、絶対に得るものはあると思うので。



夏のバーベキューのとき、「小学生の参加が少ない。せっかくのいい会なのに、小学生の子たちがもっと入会すればいいのに」という声を聞きました。もし、お近くに、話をきいてみたい、どんな活動をしているのか知りたいという方がいましたら、「福祉のつどい」や「もちつき」などにお誘いしてみてください。

田原市手をつなぐ育成会では、随時会員を募集しています。障害児・者の福祉に関心のある方の入会をお待ちしています。

年度会費 会員 3000円 賛助会員 一口 1000円
毎月広報誌が届きます。各種行事に参加できます。でも何とんでもステキな人たちとの出会いが一番の収穫です！！？？申し込みは田原市社会福祉協議会まで